

健康データ分析・地区診断事業

令和5年9月13日(水)

令和5年度 第2回

宇治市健康づくり・食育推進協議会

宇治市健康づくり推進課

◆ LIFE Studyに使用したデータ

個人を特定できないように加工

- ▶ 宇治市国民健康保険加入者（国保加入者）の診療報酬明細書（レセプト）情報、健診情報
- ▶ 京都府後期高齢者医療制度加入者で宇治市民である者（後期高齢者医療加入者）のレセプト情報、健診情報
- ▶ 宇治市生活保護受給者のレセプト情報
- ▶ 宇治市介護保険加入者（介護保険加入者）の給付情報
- ▶ 介護保険加入者の認定調査票



◆ 分析結果

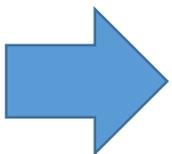
◆ 経年比較からみる特徴

- ▶ 国保・後期高齢者医療保険・生活保護受給者ともに令和2年度の総医療費、1人当たり医療費が減少。後期高齢者医療保険加入者は、令和3年度の1人当たり医療費がさらに減少しており、新型コロナによる受診控えが考えられる。
- ▶ 傷病別の割合をみると、小児は「呼吸器疾患」が多く、高齢になると「がん」「内分泌」「循環器(男性)」「筋骨格(女性)」の疾患割合が増大。
- ▶ 生活保護受給者は、国保加入者に比べて「糖尿病」「高血圧」「脂質異常」の患者割合が高い。
- ▶ 国保加入者の健診から、「朝食を抜く」と答えた割合が男女ともに増加傾向であり、男性においては「20歳から体重が10kg以上増加している」と答えた人が増加傾向。

◆ 自治体間比較からみる宇治市の特徴

分析に参加している自治体の令和3年度のデータと、宇治市のデータを比較

- ▶ 虚血性心疾患患者割合が男女ともに高い。
- ▶ メタボリックシンドローム（メタボ）該当率が男女ともに高い。
- ▶ 週2日程度の運動習慣が1年以上ない人の割合が高い。
- ▶ 1日の歩行時間が1時間未満の人の割合が高い。
- ▶ 週1回以上外出しない人の割合が高い。



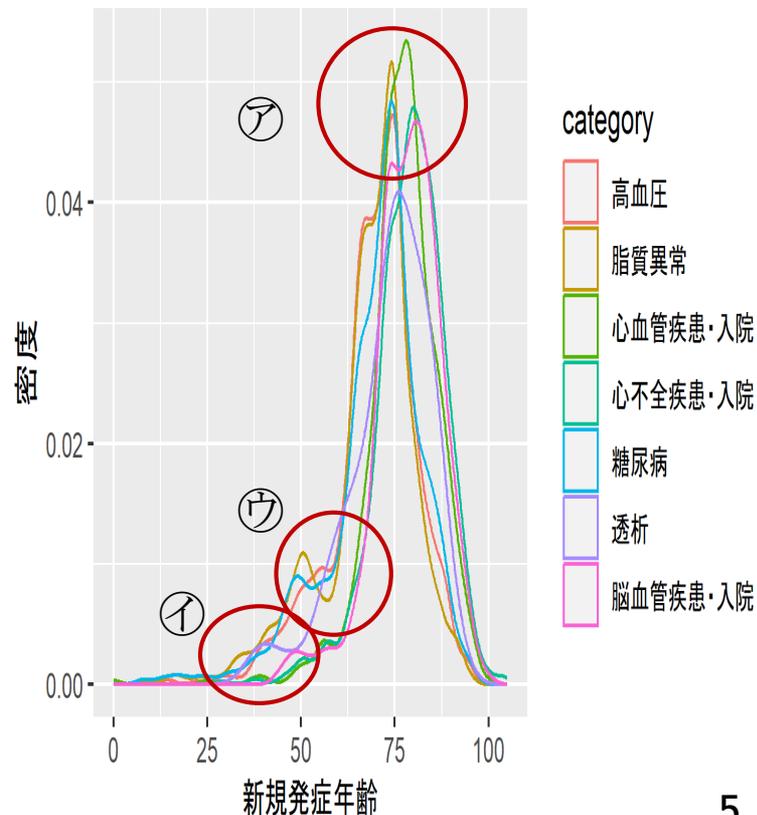
○運動不足が、メタボ該当率の高さに影響していると考えられる
○メタボ該当者が多く、心疾患につながっている可能性が高い

◆生活習慣病別にみた健康課題

①生活習慣病の新規発症年齢【男性】

- ㊦脂質異常症・糖尿病・高血圧・
脳血管疾患・透析の新規発症年齢の
ピークは70～75歳前後。
- ㊧25～50歳は、脂質異常・糖尿病・
高血圧の新規発症が高い傾向。
- ㊨脂質異常・糖尿病・高血圧ともに、
60歳を境に新規発症が急増。

生活習慣病の新規発症年齢(男性)



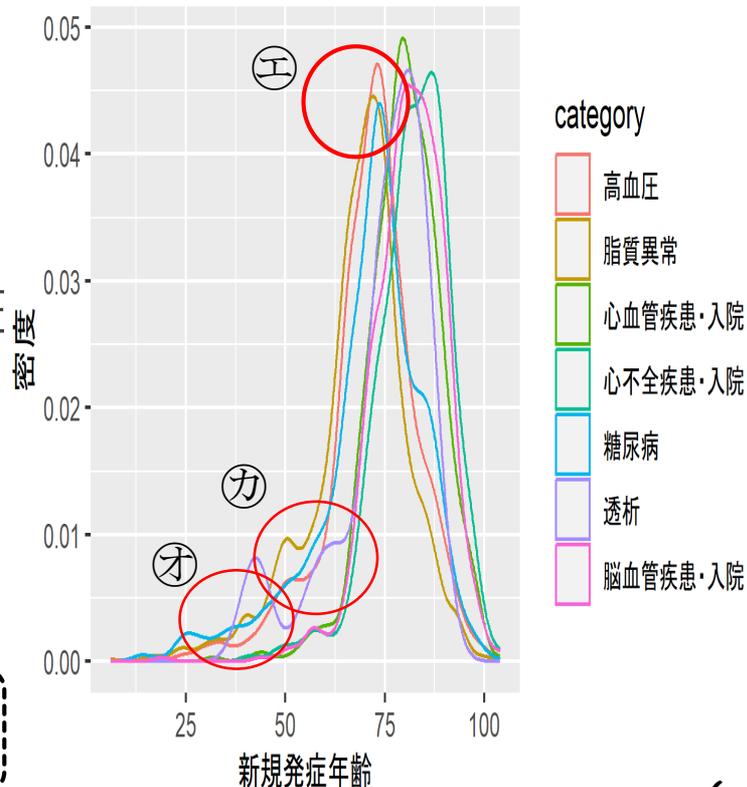
◆生活習慣病別にみた健康課題

①生活習慣病の新規発症年齢【女性】

- ㊦ 高血圧症・脂質異常症・糖尿病の新規発症年齢のピークは70～75歳前後。
- ㊧ 25～50歳は、脂質異常・糖尿病・高血圧の新規発症が高い傾向。
- ㊨ 脂質異常・糖尿病・高血圧ともに、60歳を境に新規発症が急増。

➡ 60歳より前の年代へのアプローチが必要

生活習慣病の新規発症年齢(女性)



◆ 生活習慣病別にみた健康課題

② 生活習慣病の発症率と医療費の地域別比較（OE比）

- ▶ 日常生活圏域別の生活習慣病（脂質異常・高血圧・糖尿病）で比較。

【OE比とは】

O：地域別の実際の発症率・医療費（Observed）

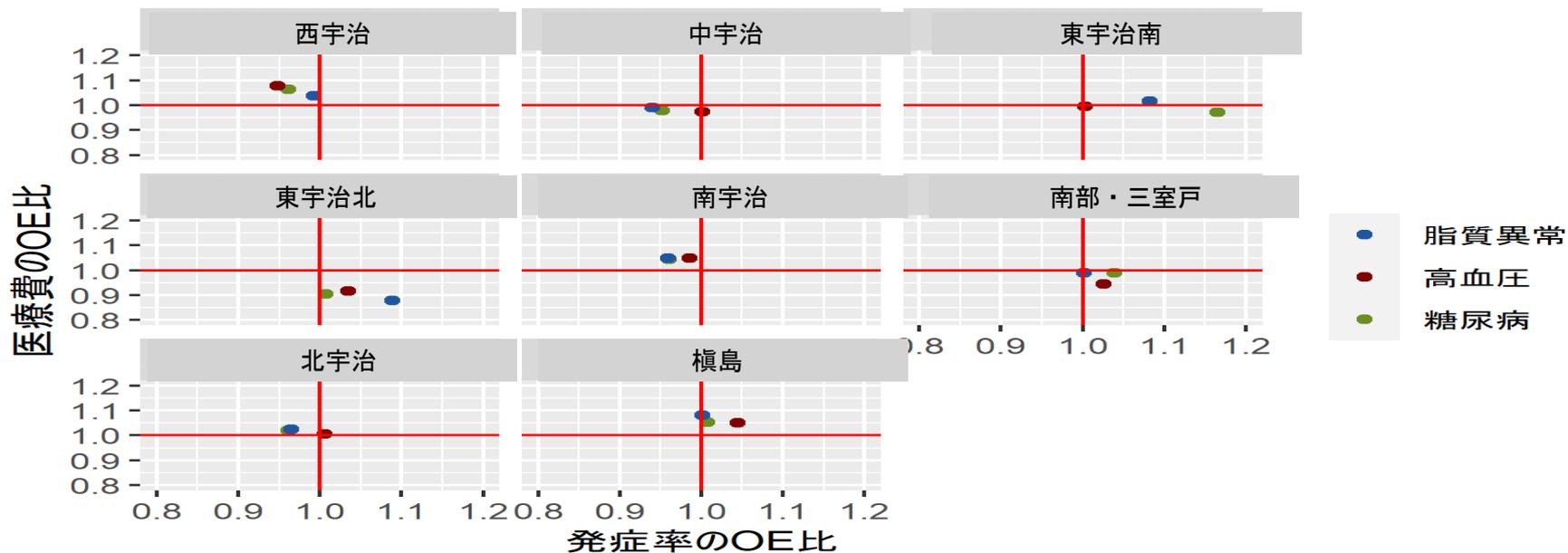
E：地域によって異なる「年齢」と「性別」を補正した
予測発症率・医療費（Expected）

- ▶ O/Eの値が1よりも大きければ「年齢」と「性別」では説明できない健康課題ありと判断できる。

◆生活習慣病別にみた健康課題

②生活習慣病の発症率と医療費の地域別比較（OE比）

生活習慣病発症率・医療費のOE比：地域別検証（2021年度）



- 生活習慣病の発症率は、「東宇治南」「東宇治北」「槇島」がやや高い傾向
- 生活習慣病の医療費は、「西宇治」「南宇治」「槇島」がやや高い傾向
- 発症率・医療費ともにO/E比1を超えている地域は「槇島」

◆ 生活習慣病別にみた健康課題

③ 生活習慣病合併症の地域別発症状況

- ▶ 生活習慣病の合併症として、脳血管疾患・心血管疾患・心不全・透析の地域別の発症状況に大きな地域差はみられず。



地域健康かるて 東宇治北包括圏域

【人口】24,245人【高齢化率】26.86%（市全体：30.03%）（令和5年4月1日時点）

市内で最も年少人口割合が高いエリア

【小学校区】木幡・御蔵山・笠取・笠取第二

主なエリア

平尾台・木幡（御蔵山・須留・南原・北山・赤塚・平尾・南山・松峠・河原・北畠・正中・陣ノ内・畑山田・花揃・東中・御園・檜尾・金草原・北島）
六地藏・笠取（東笠取・西笠取）・菟道（東垣内）・炭山・二尾・池尾



木幡、御蔵山、笠取、笠取第二の4つの小学校区で構成され、旧市街地と丘陵住宅地、山間部の3つに分かれる。丘陵住宅地では大規模な住宅開発が行われており、他市からの転入者が多い。
六地藏は京都市伏見区と接し、JR線・京都市営地下鉄東西線・京阪の3路線にアクセスが可能で、京都市内への通勤・通学に便利なエリアである。

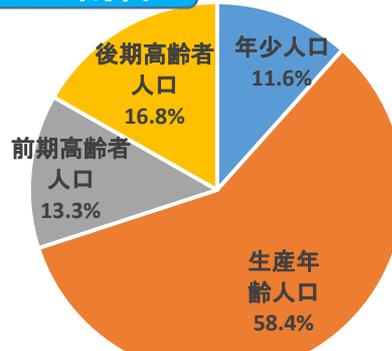
※国民健康保険、後期高齢者医療情報は令和4年9月時点であるため
1人当たり年間医療費、健診受診率等は公表値と異なります

人口

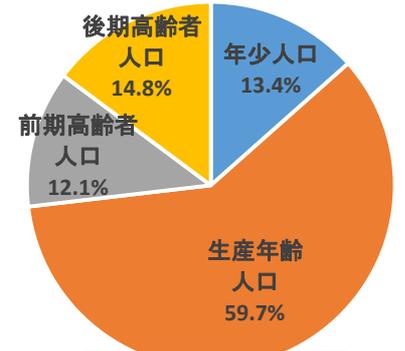
| | 総人口 | 年少人口 (0~14歳) | 生産年齢人口 (15~64歳) | 高齢者人口 (65歳以上) | (再掲) | |
|--------------|---------|-----------------|--------------------|------------------|---------------------|--------------------|
| | | | | | 前期高齢者人口 (65~74歳) | 後期高齢者人口 (75歳以上) |
| 宇治市 | 181,616 | 21,051 | 106,031 | 54,534 | 24,095 | 30,439 |
| 東宇治北 包括圏域 | 24,245 | 3,255 | 14,478 | 6,512 | 2,924 | 3,588 |

令和5年4月1日時点

人口割合



宇治市



東宇治北包括圏域



◆ 今後の取組

アプローチを行う地域“榎島”

選定理由

- ▶ 令和5年4月1日時点の人口で高齢化率が最も低く若い世代が多い地域である。
- ▶ 国保健診受診率が他地域と比べて低い。
- ▶ 生活習慣病の発症率と医療費の地域別比較において医療費・発症率ともに高い地域である。

● 今年度

分析したデータを活用し、各種団体と健康課題の共有等を目的としたワークショップを実施。

● 令和6年度以降

ワークショップ結果等を踏まえて、地域特性に応じた健康づくりの取組について事業化を検討。